

ラチェットケーブルカッター DRC-9500

取扱説明書

このたびは、ラチェットケーブルカッター (DRC-9500)をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、使用上の注意、本製品の能力、使用方法を確認のうえ、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してください。

ご使用前に必ず下記の注意事項をお読みください。

ご使用前に必ず、ブレード板回転軸ナット、がしっかりと締まっているか確認してください。(下図「ご使用前の点検」参照)
ナットが緩んだ状態で使用すると、刃の欠けや割れ、本体の破損、損傷の原因となります。
ご使用前、または使用中定期的に確認してください。

警告

- 活線の切断は絶対にしないでください。感電の恐れがあります。
- ハンドルグリップは絶縁体ではありません。
- 刃部は鋭利になっていますので直接手指で触れないでください。
- 作業中、刃部やハンドルなどの可動部分に手指を挟まないように十分注意してください。

注意

- 適用電線サイズを超えるものは使用しないでください。
 - 使用前に本製品を確認し、異常がある場合は使用しないでください。
特に刃が破損、損傷している状態では工具本来の性能を発揮できません。
 - 作業時は周りの安全を確かめてから使用してください。
 - 刃部や可動刃、ハンドル部などに異物、切断物が付着している場合は取り除いてください。
本体の破損、損傷の原因となります。
 - 当社に無断で改造しないでください。
 - 定期的に可動部分に注油してください。
 - ハンドルにパイプ等を継ぎ足して使用しないでください。
 - 可動ブレードが切断物に噛み込み、ハンドルを動かしても進まなくなった場合、無理に切り進めると、ラチェット機構、刃の破損、損傷の原因になります。その場合、取扱説明書「使用方法 4.ブレードの解除」内容通りに可動ブレードを解除してから、噛み込んだ切断物を取り除いてください。また、深く噛み込んでいる場合、ブレード板回転軸ナットを少し緩めることにより解除しやすくなります。
- ※ブレード板回転軸ナットを緩めた場合、再度使用するときには、必ずしっかりと締めてください。
緩めた状態で使用しますと刃の欠けや割れ、本体の破損、損傷の原因となります。

ご使用前の点検

必ずご使用前に、ブレード板回転軸ナットがしっかりと締まっているかを確認してください。

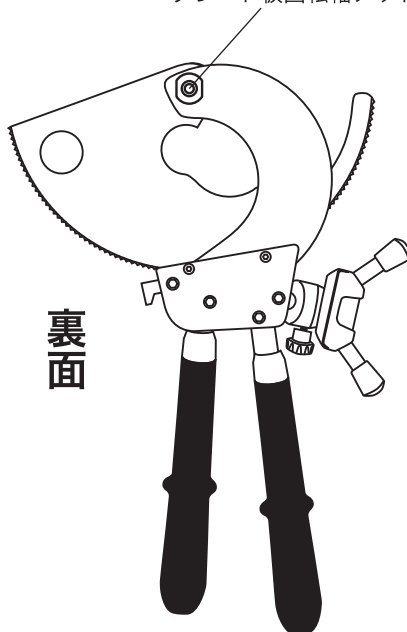
ブレード板回転軸ナット

ナットの対辺

S=21mm



ブレード板回転軸ナット



裏面



注意

使用中でも定期的にナットのゆるみを確認し、必ずしっかりと締まった状態で、ご使用ください。

※ブレード板回転軸ナットは締め付けすぎると可動ブレードがスムーズに動かなくなるため、締め付け強さには注意してください。

特 長

- CVT(500mm²×3本)が切断可能
- ハンドルは伸縮自在。縮めるとコンパクトに収まり、持ち運びや収納に便利
- 切断中でもブレードを楽に解除できる
- スタンドを使用することにより、床に置いて安定して据え切りができる

適 用

- φ95mm以下の銅撚線
- φ95mm以下のアルミケーブル
- ※ACSR(鋼芯入)を除く

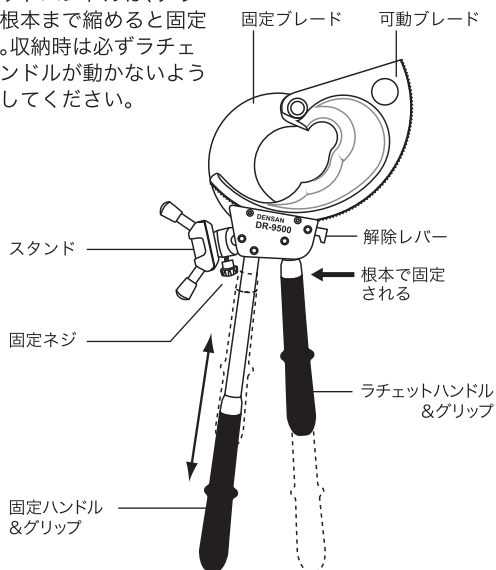
仕 様

- 質 量:6.5kg
- サイズ:460~585mm

使用方法

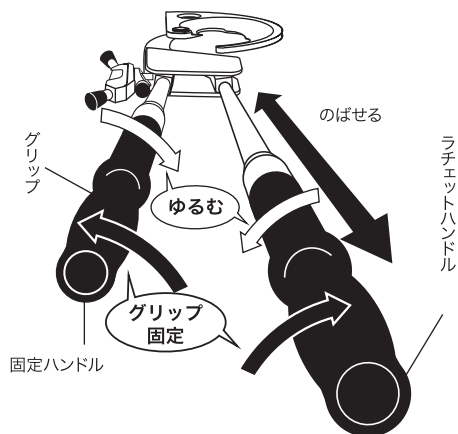
1. 各部名称・収納時

ラチェットハンドルは、グリップを根本まで縮めると固定します。収納時は必ずラチェットハンドルが動かないように固定してください。



2. ハンドルの伸縮

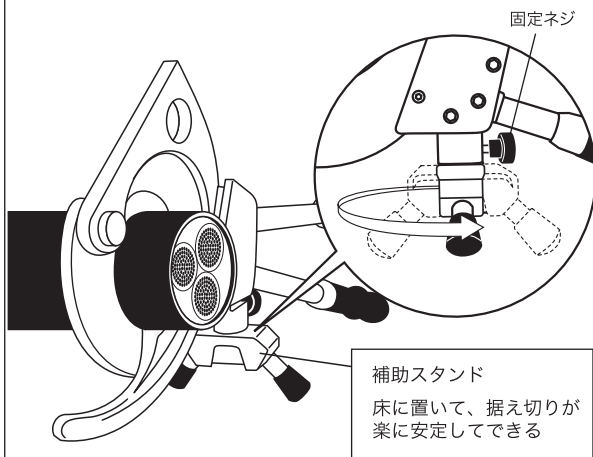
グリップは内側に回すとゆるみ、外側に回すと締まります。使用時はハンドルをのばし、収納時は縮めてください。ラチェットハンドルのグリップを一番上にするとうハンドルが固定されます。



注意：グリップを固定する際、回しすぎると破損しますので注意してください。

3. 使用時

グリップは適当な位置まで伸ばしてお使いください。切断材料を両ブレードで挟みこみ、グリップをしっかり保持し、ラチェットハンドルを動かして切断します。スタンドを90°回転させ、固定ネジで固定し、床に置いて作業すると安定します。



4. ブレードの解除

ラチェットハンドルを広げて解除レバーを上押し上げると、可動ブレードがフリーになります。使用後はグリップを一番上まであげ、ハンドルを、固定してください。

